

No.	0012-24
区分	修理
対象	研削盤

SHIOZAWA NEWS

製造者	テクノワシン
型式	TFG-M1
内容	テーブルの修理

【修理機の概要：テーブルの動きが滑らかでない】



【同じタイプの外観】



【テーブル部の取外し】

【修理のポイント：ローラーベアリングあたり部のラッピング】



【ローラーベアリング取付部の調査】



【ストレナーによる検査】

【実施内容と概略工数】

- ◆ テーブルを支えている4面のローラーベアリングのアタリを確認しながら摺動面のラッピングを実施します。
- ◆ 摺動部は基準器ストレナー（ストレートエッジ）によってうねりを正確に確認し、ラッピングします。
- ◆ ローラーベアリングは状態によっては交換します。

必要なストレナー・部品を入手次第実施した場合；

工事：2日間

合計：2日間

【交換工事の概要】

下見・準備

- ◆ ストレナーは摺動部のうねりを確認し、状態によりラッピングにて摺動面の修正をします。
- ◆ ローラー部のアタリを確認しながら正確なレベル装置を使ってテーブルの動きを補正していきます。

工事

- ◆ 部品が揃っていて、ハンドラッピングで修正が可能な程度の摩耗であれば、工事は2日間で修理可能です。

追加項目の発生要因

- ◆ ローラー部のアタリ部分の摩耗程度によって工事の内容、かかる時間が決まります。ラッピングで取り除けない程の摩耗の場合、追加のテーブル研磨が必要です。